テクニカルデータ

2MHz帯赤外線2chレシーバー：ATIR-R22
3MHz帯赤外線2chレシーバー：ATIR-R33

チャンネル数：2チャンネル
出力レベル：（バランス出力、VR MAX（約5時方向））
　マイク　−39dBV
　ライン　0dBV
電源：AC100V、50/60Hz、8W
外形寸法：H44×W210×D225mm
質量：約1,700g
●付属品：ラックマウントアダプター　長×1、短×1
　　：ラックマウントアダプター用　取り付けネジ×6

2MHz帯・3MHz帯共用赤外線受光ユニット（別売）：ATIR-A40

外形寸法：H33×W39×D86mm
質量：88g
●付属品：木ネジ×2
　受光ユニット取り付け金属×1
　カメラネジアダプター×1
　ネジ（取り付け金具またはカメラネジアダプター）×2

充電器（別売）：BC700

方式：急速充電
電源：DC12V、500mA
　　ACアダプター（**AD1205JA**・JEITA規格RC5320A極性統一形プラグ）
充電端子出力：DC4V、400mA×2
標準充電時間：約6.5時間（専用2100mAh充電池）
外形寸法：H96×W158×D66mm
重量：430g
充電池使用温度範囲：放電（機器使用時）：−10℃〜＋40℃
　　保存：−20℃〜＋40℃
　　充電：＋5℃〜＋40℃
●付属品：ACアダプター（**AD1205JA**）

2MHz帯赤外線マイクロホン（別売）：ATIR-T22A,B
3MHz帯赤外線マイクロホン（別売）：ATIR-T33A,B

型式：バックエレクトレットコンデンサー型
指向特性：単一指向性
変調方式：FM周波数変調
搬送波周波数（**ATIR-T22**）
　：Aチャンネル・2.06MHz、Bチャンネル・2.56MHz
搬送波周波数（**ATIR-T33**）
　：Aチャンネル・3.2MHz、Bチャンネル・3.7MHz
到達距離（受光ユニット正面にて）※室内の状況により変化します。

マイク出力切換	受信エリア「広い」（出荷時）	受信エリア「狭い」
LO	約15m	約8m
HI	約20m	約11m

バッテリー：ニッケル水素充電池（本体に実装済み）、
　　または単3アルカリ乾電池×2（緊急時）
連続使用時間：LO時 約8時間（2100mAhニッケル水素充電池使用時）
　　約6時間（単3アルカリ乾電池使用時）
　　HI時 約4.5時間（2100mAhニッケル水素充電池使用時）
　　約3時間（単3アルカリ乾電池使用時）
外形寸法（ヘッド径×全長）：φ54×256mm
質量：300g
＊連続使用時間は**BC700**で充電完了時の目安です。
●付属品：単3形乾電池アダプター

※システムを運用するには下記製品の組み合わせが必要です。

・マイクロホン
　ATIR-T22A
　ATIR-T22B
　ATIR-T33A
　ATIR-T33B
・受光ユニット
　ATIR-A40
・アンテナ分配器
　IRカプラ
・マイクロホン充電スタンド
　BC700
・ニッケル水素充電池（組電池）
　RB3H
・**ATIR**用連結プレート
・**AT8426**　マイクホルダー

（改良などのため予告なく変更することがあります。）

故障かな？と思う前に

マイクの電源が入らない
充電されていますか？
→出荷時は充電されていません。
　充電してからご使用ください。

レシーバーの電源が入らない
電源コードがコンセントに差し込んでありますか？
→電源コードをコンセントに接続してください。

音声が出ない
・レシーバーの出力の切り換えは確かですか？
→接続した機器によってマイク/ラインを切り換えます。
・本体のボリュームまたは接続した機器のボリュームを絞りきっていませんか？
→ボリュームを上げてください。

レシーバーが受信しない
・マイクと受光ユニットとの間に障害物がありませんか？
→直視可能な場所に設置してください。
　※距離は室内の状況により変化します。
→4ページの接続例を参考に到達範囲内でご使用ください。

フル充電しても直ちに電池がなくなってしまう
メモリー効果を起こしていませんか？
→一度使い切ってからまた充電してください。
※上記の操作をしても改善されない場合は、充電池の寿命（約750回の充放電が目安です）と思われます。新しい充電池と交換してください。

製品保証及び修理などにつきましてはお買い上げのお店、
または別紙記載の弊社営業所までお問い合わせください。

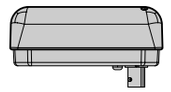
audio-technica®
株式会社オーディオテクニカ
特販部 プロオーディオ課
http://www.audio-technica.co.jp/proaudio

環境保護、資源リサイクルのため
古紙配合率100%再生紙を使用しています。　142309820B

audio-technica®

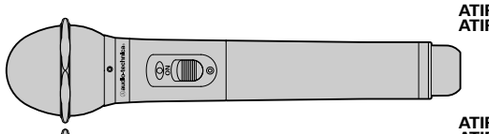
取扱説明書

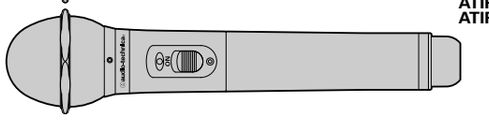
2MHz帯赤外線マイクロホンシステム
3MHz帯赤外線マイクロホンシステム


ATIR-A40
受光ユニット

ATIR-R22
ATIR-R33
レシーバー

BC700
充電器


ATIR-T22A
ATIR-T33A


ATIR-T22B
ATIR-T33B
マイクロホン

特長

●電波を使わない赤外線伝送方式。
　隣接した部屋との混信の心配がありません。
●充電式マイクを2本同時に使用可能。
　8時間連続使用OK。（出力切換スイッチLO時）
●高音質・高感度のコンデンサーマイクユニット搭載。
●天井や壁に取り付けられる受光ユニットにより
　360°のワイドレンジに安定した受信を実現。
●マイク2本を同時に急速充電可能。
　マイコン搭載で充電状態を表示。
　過充電を防止して電池寿命を大幅アップ（当社比約1.5倍）。

お買い上げありがとうございます。お使いになる前にこの説明書を必ずお読みください。
また保証書と一緒にいつでもすぐ読める場所に保管しておいてください。

⚠ 注意

●DC IN 12V（外部電源入力）ジャックに異物を入れないでください。
●充電式電池に貼ってあるビニールカバーをはがさないでください。
　ショートして電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。
●充電口に金属物を落としたり、水などの液体をこぼした場合は電源プラグをはずし、異物を取り除いてください。火災、感電や故障の原因になります。
●分解しないでください。火災、感電や故障の原因となります。
●振動、衝撃の多い場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
●調理台の近く、油、煙や湯気のあたる場所で使わないでください。
　火災の原因になることがあります。
●直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、高温多湿やほこりの多い場所に置かないでください。
●湿度の高い場所に置かないでください。また水がかからないようにしてください。誤って水が入ると感電、故障や火災の原因になります。
●梱包のポリ袋は幼児の手の届かない所に置いてください。
　また火のそばに置かないでください。
●汚れたときは電源プラグを抜いてから、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。

⚠ ACアダプターの注意

●AC100V以外の電源には使わないでください。
　火災や感電の原因になります。
●DCプラグに異物を入れないでください。
●異常な音がしたり、煙が出るなど異常があるときは電源プラグをコンセントから直ちに抜いて取扱店までお問い合わせください。
●電源コードは伸ばしてお使いください。束ねたままで使用したり、釘などで固定しないでください。電源コードが傷つき火災や感電の原因となります。
●電源コードと本体プラグは濡れた手で触れないでください。
　コードを引っ張らず、本体を持ってまっすぐ抜き差ししてください。
　コードが損傷すると感電、故障や火災の原因になります。
●電源コードの上に物を置いたり、敷物や家具などの下に入れないでください。
●布などでおおわないでください。熱がこもり、感電や火災の原因になります。
●長い間使わないときは、安全のため必ずACアダプターをコンセントから抜いてください。

⚠ 設置上の注意

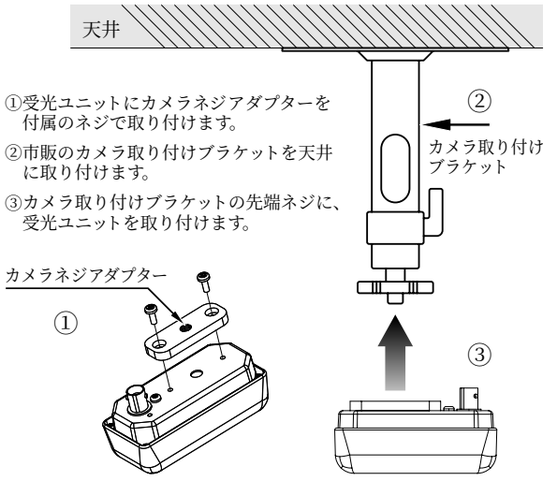
●受光ユニットが高感度なため直射日光の射し込む場所などでは、ノイズを発生することがあります。その場合はカーテンなどで窓を覆ってください。
●振動、衝撃の多い場所、ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりしてけがの原因になることがあります。
●受光ユニットを照明器具の近くやスポットライトの光があたる場所に設置しないでください。
●調理台の近くなど、油、蒸気、熱のあたる場所には設置しないでください。
●振動する場所には設置しないでください。
●プラズマディスプレイ、同時通訳システムなど赤外線を使用した機器とは、同時使用できない場合があります。

目次

受光ユニット（別売）：設置のしかた ―― 2
受光ユニット（別売）：セッティング例／接続例 ―― 3
レシーバー：各部の名称と機能／接続のしかた ―― 4
ATIR用連結プレート（別売）：使いかた ―― 5
ラックマウントアダプター：使いかた ―― 5
マイクロホン（別売）
：各部の名称と機能／使いかた／電池の入れかた ―― 6
充電器（別売）：各部の名称と機能／充電のしかた ―― 7
テクニカルデータ／故障かな？と思う前に ―― 裏表紙

受光ユニット（別売）：設置のしかた

●カメラネジアダプターを使用する場合



⚠取り付け上の注意

●受光ユニットのコードを壁などに固定する場合、強い力で固定すると断線することがありますのでご注意ください。

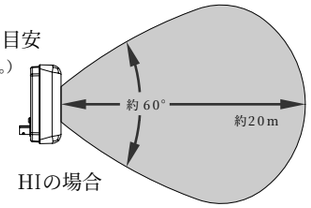
●取り付け場所の強度を確認してください。強度不足、取り付けの不備による落下などの事故に対する責任は、当社は一切負いません。

⚠注意

●レシーバー本体には赤外光受光器はありません。受光ユニットを必ずレシーバー本体とつないでください。
ATIR-A40は**ATIR-R22**と**ATIR-R33**の両方に使用可能です。

●マイクロホン下部の赤外光発光部及び受光ユニットは手で覆わないでください。また発光部と受光部との間に仕切りや障害物があるとノイズが混入したり、音が出なかったりする原因になります。

※受光ユニット指向特性の目安
（角度調整の参考にしてください。）

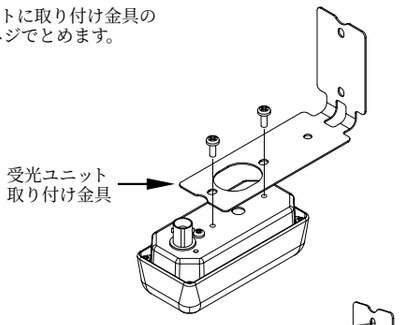


HIの場合

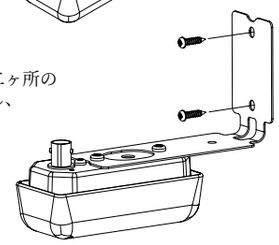
●受光ユニット取り付け金具を使用する場合

壁取り付けの場合

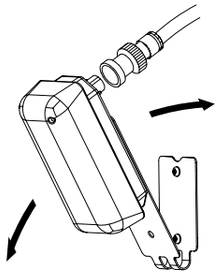
①受光ユニットに取り付け金具の長い方をネジでとめます。



②取り付け金具の短い方の二ヶ所の丸穴に付属の木ネジを通し、壁に取り付けます。

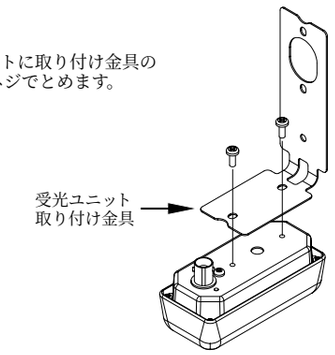


③BNCケーブルを接続し、角度を調整します。

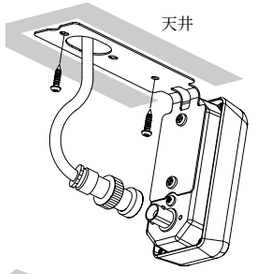


天井取り付けの場合

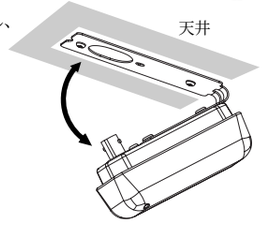
①受光ユニットに取り付け金具の短い方をネジでとめます。



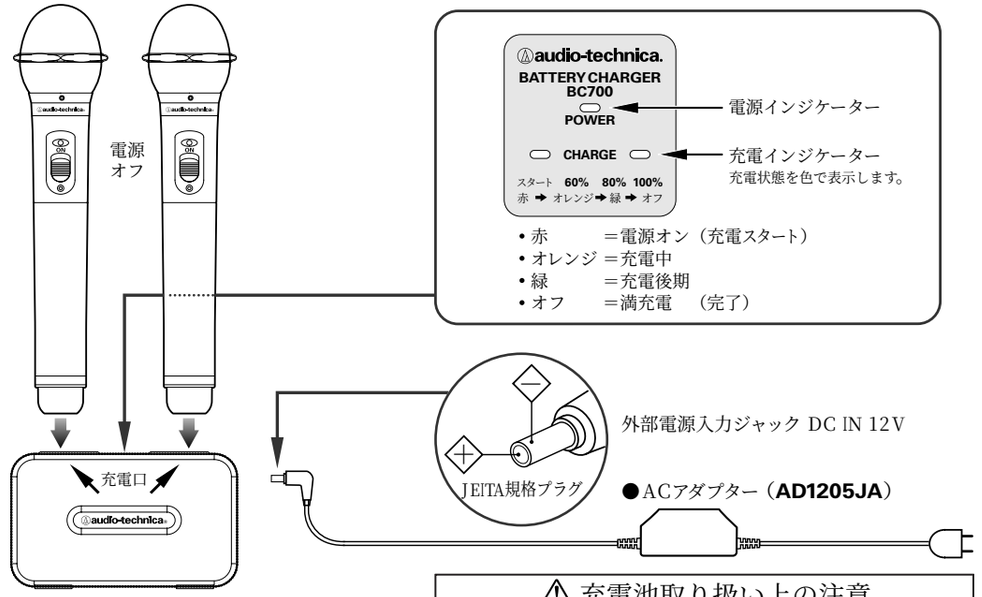
②取り付け金具の長い方の穴からBNCケーブルを通します。
二ヶ所の丸穴に付属の木ネジを通し、天井に取り付けます。



③BNCケーブルを接続し、角度を調整します。



充電器（別売）：各部の名称と機能／充電のしかた



■充電のしかた

①ACアダプターの出力プラグを充電器の外部電源入力ジャック（DC IN 12V)に差し込んでください。

②ACアダプターの電源プラグをAC100Vコンセントに差し込むと電源インジケーター(POWER)が赤に点灯します。

③コードレスマイクの電源をオフにしてから、静かに充電口へ差し込みます。

④充電インジケーターは充電中に赤からオレンジに点灯し、満充電近くなると緑に点灯します。
約6.5時間で充電されます。充電池の消耗が少ない時は、自動的に短時間で充電を完了します。

＊充電中にコードレスマイクを抜いて再度入れると、充電量に関係なく赤色を表示しますので、ご注意ください。

⑤充電インジケーターが消灯すれば、充電完了です。
マイクは約8時間連続使用可能です。(出力切換スイッチLO時)

＊充電状態の表示は目安です。必ず、満充電(充電インジケーターが消灯)になってからお使いください。

⚠充電池取り扱い上の警告

●この電池は**ATIR-T22/A,B**、**ATIR-T33/A,B**専用です。他の用途に使用しないでください。
●専用充電器以外では充電しないでください。
●充電式電池に貼ってあるビニールカバーをはがさないでください。ショートして電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。
●電池を火の中に投入したり、加熱しないでください。火災の原因となります。
●電池を分解、改造しないでください。
●⊕と⊖を針金などの金属でショートさせないでください。
また金属製品と一緒に持ち運んだり、保管しないでください。
●所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合には、充電をやめてください。
●電池が漏液したり、変色・変形、その他今までと異なることに気づいたときは直ちに電池をはずして使用しないでください。
●電池が漏液して液が眼に入ったときは、こすらずにすぐにきれいな水で十分洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。
●電池が漏液して皮膚や衣服に付着した場合には、直ちにきれいな水で洗い流してください。
●液もれが起きた場合は、バッテリーケースに付いた液をよく拭き取ってから、新しい電池を入れてください。

⚠充電池取り扱い上の注意

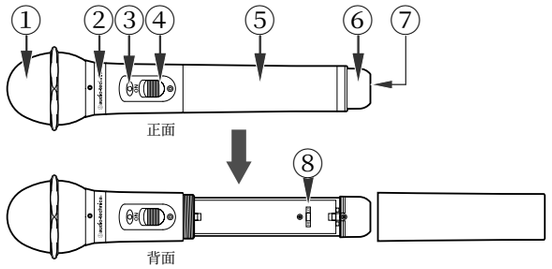
●充電池にまれに白い粉のようなものが付着することがありますが、故障ではありません。よく拭き取ってから再度ご使用ください。
●初めて使用の場合に、サビや異臭、発熱、その他異常と思われたときは使用しないでください。
●火のそばや直射日光の強いところ、また炎天下の車内などの高温の場所で使用したり、放置しないでください。
●使用済みの充電池は、産業廃棄物として処理するか当社サービス(下記)へお送りください。なお、送料はお客様ご負担とさせて頂きます。
送付先：〒910-3607 福井県丹生郡清水町杉谷45-163
(株)テクニカフクイ清水工場サービス TEL0776(98)4170

⚠充電上の注意

●本機は**ATIR-T22/A,B**、**ATIR-T33/A,B**または**ATIR-T21/A,B MK2**、**ATIR-T31/A,B MK2**専用です。他のマイクの充電に使用すると事故や故障の原因となります。
●電池を寒い屋外（＋5℃以下）や、冷えたまま（＋5℃以下）で充電しないでください。
●平らな場所で充電してください。傾けて使うと充電はできません。
●本機はマイクを充電器に差し込んで充電が始まると自動的にマイクの電源が切れますが、念のためマイクの電源スイッチをオフにしてから充電してください。マイクの電源スイッチがオンの状態で充電器に差し込むと異音が発生する場合がありますが、使用上問題ありません。
●充電インジケーターが消灯するまでマイクを使わないでください。
●充電式電池使用の際は、使いきらないうちに充電を繰り返すと、充電状態とは無関係に電池が消耗するメモリー効果と呼ばれる現象が起きます。その場合、一度電池をマイクのインジケーターが消えるまで使い切ってから充電してください。改善されない場合、充電池の寿命の可能性があります。新しい充電池と交換してください。
●充電しないでスタンドとしてお使いの場合、ACアダプターを抜いてください。
●充電中付属のACアダプターから熱が発生します。充電器をこのACアダプターの横に設置しますと、温度により電池の電圧が変化し充電が途中で終わり、満充電されないことがあります。充電器はACアダプターの横や高温になる場所には設置しないでください。
●充電池はその性格上、充電を繰り返すと電池の容量が減少してきます。使用時間が短くなってきましたら、なるべく早く新しい電池と交換されることをお奨めいたします。使用時間の目安は5時間くらいです。
(出力切換スイッチLOで使用の時)
●充電器**BC700**の充電状態の表示は、あくまでも目安ですので、極力満充電（オフ）になってからご使用ください。
●充電の途中で1度でもマイクを抜くと、充電量の確認に約30分かかります。そのあいだ電池の充電量に関わりなく充電インジケーターは充電スタート表示である赤色になりますのでご注意ください。
●マイクの底の充電端子が汚れていると十分に充電できないことがあります。充電端子の汚れを落としてから充電器に入れてください。

＊**BC700**は2本のマイクロホンを同時充電可能です。
出荷時は充電されていません。
＊付属の専用充電池は約750回の繰り返し使用が可能です。

マイクロホン（別売）：各部の名称と機能／使いかた／電池の入れかた



①ウインドスクリーン

②銘板

ATIR-T22はイエローがAチャンネル用、グリーンがBチャンネル用です。
ATIR-T33はレッドがAチャンネル用、ブルーがBチャンネル用です。

③電源インジケーター

電源を入れると電池の残量を表示します。

＊使用条件、電池の状態により変わりますので目安としてお使いください。
　無点灯・レッド：充電してください。
　グリーン　　：使用可能

④電源スイッチ

ON側にスライドさせると電源が入ります。

⑤グリップ

⑥赤外光発光部

赤外光発光LEDが内蔵されています。

⑦充電端子部

充電器に差し込む部分です。

⚠ 本機は内蔵の充電池を使用するのが原則ですが、緊急の場合、単3アルカリ乾電池2個でも使えます。また、アルカリ電池を使用する時は絶対に充電しないでください。

＊電源インジケーターが赤表示ですと受信範囲が狭くなり、ノイズの混入や途切れが発生する場合があります。

⑧出力切換スイッチ

LO：標準（出荷時）　　HI：強出力

⚠ 注意

- ご購入直後の1回目の充電及びマイクロホンのパワースイッチをONにしたままで長期間放置され過放電になっている場合は、1回の充電で十分に充電されない場合がありますので2回充電するようにお願いいたします。また、過放電の状態によっては電池をいため使用不能になる場合もありますので、マイクの電源インジケーターが消灯したらすぐにマイクの電源スイッチをお切りください。
- 電池の極性を逆に入れた場合、故障の原因になります。
- マイク下部の赤外光発光部及びレシーバーの受光部は手で覆わないでください。また発光部と受光部との間に仕切りや障害物があるとノイズが混入したり、聴こえなかったりする原因になります。

⚠ 電池使用上の注意

- 本機は別売の単3形乾電池を2本使用します。電池は同じ種類のものをお使いください。
- 極性を逆に入れないでください。マイク本体が損傷することがあります。
- 火中に投入、加熱しないでください。
- ⊕と⊖を針金などで接触しないでください。
- ハンダ付け、変形、分解、改造はしないでください。
- 金属製品と一緒に持ち運んだり、保管はしないでください。
- 長い間使わないときは電池をはずしておいてください。
- 液もれが起きた場合は、バッテリーケースに付いた液をよく拭き取ってから、新しい電池を入れてください。

■使いかた

使用上の注意
- 赤外光発光部は手で覆わないでください。
- 赤外光の到達距離は壁、天井や床などの色や材質によっても変わります。
- 到達距離とは無関係にノイズが発生することがあります。
　その場合は、受光ユニット**ATIR-A40**を適切な位置に取り付け直してください。

＊接続する機器の取扱説明書をあわせてお読みください。

①マイクロホンを充電します。

②レシーバーの出力切換スイッチ（マイク⟷ライン）を確認します。

③レシーバーに受光ユニットをつなぎ、電源を入れます。
＊電源を入れてから約1秒間は音が出ません。

④マイクロホンと受光ユニット正面との距離はLO 15m / HI 20m以内にします。
レシーバーの受信エリアを「狭い」にする場合はLO 8m / HI 11m以内にします。（距離は室内の状況により変化します。）

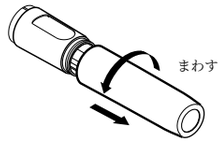
⑤マイクロホンの電源を入れます。

⑥マイク音量はお手持ちの機器のボリュームで調整します。

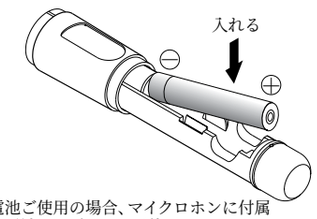
■電池の入れかた

1 電源をオフにします。

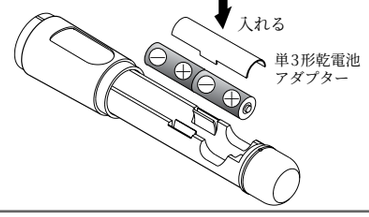
2 グリップを反時計方向に回し、外します。



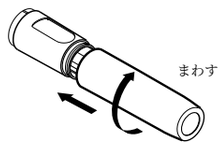
3 ニッケル水素充電池を入れる場合は、⊖側から先に差し込み入れます。



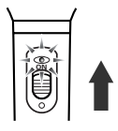
※単3形乾電池ご使用の場合、マイクロホンに付属の単3形乾電池アダプターをご使用ください。



4 グリップを本体にはめ込み、時計方向に止まるまで回します。



5 電源スイッチをオンにし、電源インジケーターが点灯すれば正常です。



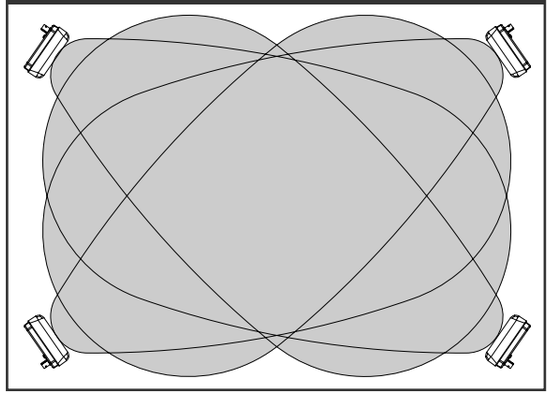
＊電源インジケーターが赤、または無点灯の時は電池が消耗しています。
専用充電池なら充電器にセットしてください。

受光ユニット（別売）：セッティング例

天面から見たセッティング例

受信範囲がある程度重なるように受光ユニットを取り付けると効果的です。

天井を見上げた場合

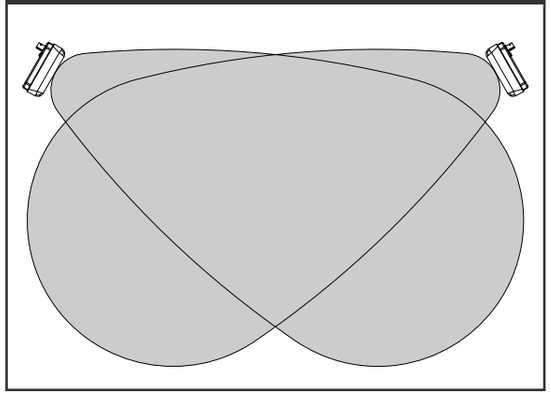


レシーバーの受信エリア切換スイッチ

受信エリア「広い」の場合
マイクの出力切換スイッチ
HI 20m、LO 15m（A40正面にて）

受信エリア「狭い」の場合
マイクの出力切換スイッチ
HI 11m、LO 8m（A40正面にて）

横から見た場合

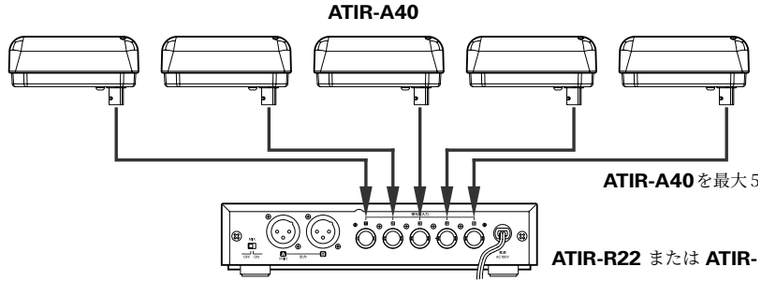


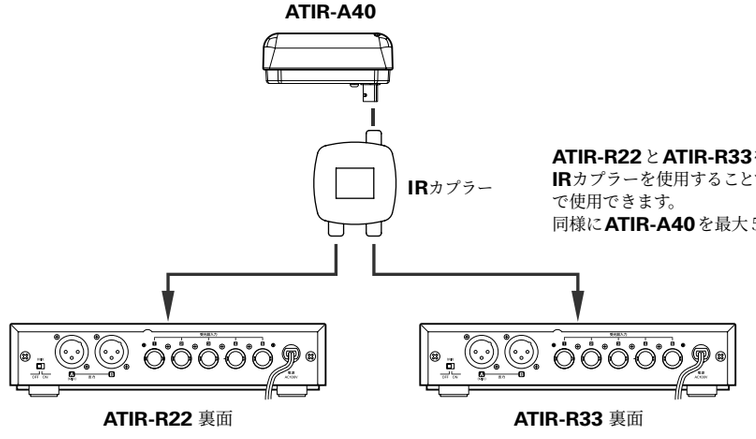
レシーバーの受信エリア切換スイッチ

受信エリア「広い」の場合
マイクの出力切換スイッチ
HI 20m、LO 15m（A40正面にて）

受信エリア「狭い」の場合
マイクの出力切換スイッチ
HI 11m、LO 8m（A40正面にて）

受光ユニット（別売）：接続例

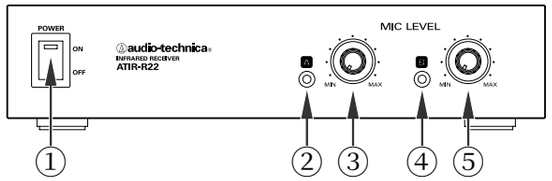




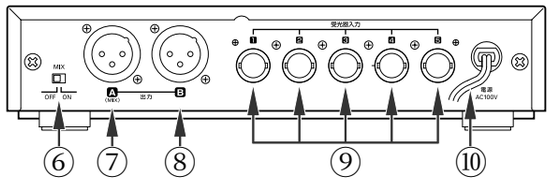
ATIR-R22と**ATIR-R33**を同時に使用する場合**IR**カプラーを使用することで、**ATIR-A40**を共通で使用できます。
同様に**ATIR-A40**を最大5個接続できます。

レシーバー：各部の名称と機能／接続のしかた

正 面



裏 面



①電源スイッチインジケーター（レッド） 電源が入ると点灯します。

②Aチャンネルマイクインジケーター（グリーン）
Aチャンネルのマイク信号を受信すると点灯します。

③Aチャンネルマイクボリューム
Aチャンネルのマイク音量を調整します。

④Bチャンネルマイクインジケーター（グリーン）
Bチャンネルのマイク信号を受信すると点灯します。

⑤Bチャンネルマイクボリューム
Bチャンネルのマイク音量を調整します。

⑥ミックス、単独切換スイッチ（出荷時OFF）
「ON」にするとAとBチャンネルのミックス出力がA側から出ます。

⑦Aチャンネルマイク出力ジャック

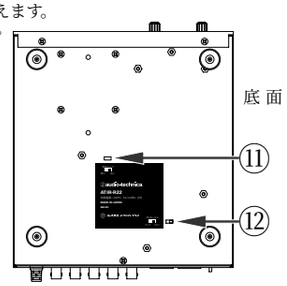
⑧Bチャンネルマイク出力ジャック

⑨受光器入力
受光ユニットからのコードのプラグを差し込みます。

⑩電源コード（AC100V）

⑪受信エリア切換スイッチ
受信エリアを狭くした時に切り換えます。
通常は出荷時「広い」で使用します。

⑫出力切換スイッチ
（出荷時「ライン」）



⚠ 注意

- 本機を高温になるパワーアンプやデジタルノイズを出す機器のそばに置かないでください。高温やデジタルノイズにより受信感度が悪くなる場合があります。
- プラズマディスプレイに受光ユニットを向けたり、近づけるとノイズが極端に増える場合があります。
- **ATIR-A40**を複数個接続される場合、つなぐコードの長さはできるだけ同じにしてください。長さの差が大きいとノイズが増えることがあります。

■接続のしかた

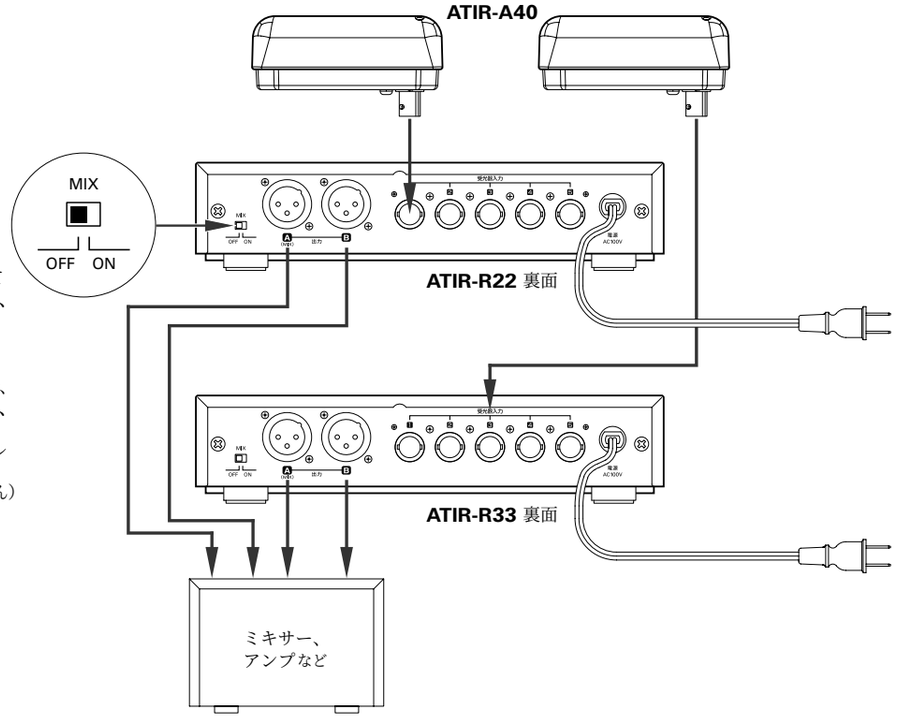
＊つなぐ機器の取扱説明書をよくお読みください。

①電源コードの先端プラグをAC100Vコンセントに差し込みます。

②接続する機器の入力感度に合わせてレシーバーの出力切換スイッチをマイク/ライン側にします。

③別売のコードでレシーバーの出力ジャックとつなぐ機器の入力ジャックをつなぎます。

④受光器入力へ受光ユニット**ATIR-A40**のプラグをつなぎます。市販のコード（BNC⟷BNC）を使用すると最大5個までつなぐことができます。
ATIR-A40は、**ATIR-R22**,**ATIR-R33**の両方に使用可能です。



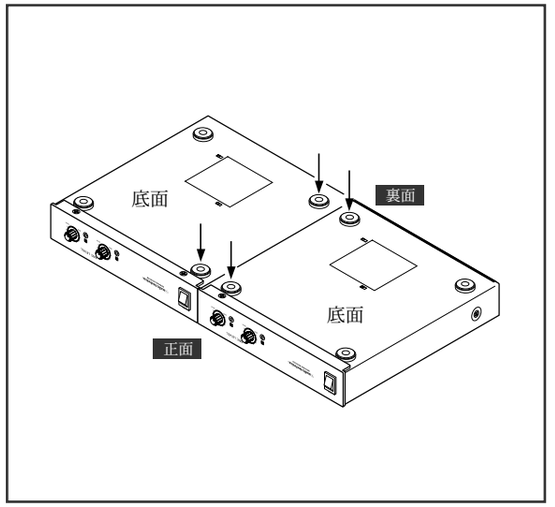
■MIXスイッチの使いかた

●MIXスイッチOFF(出荷時)にて
ATIR-T22A、**ATIR-T33A**、
ATIR-T22B、**ATIR-T33B**
の音声が単独で出力されます。

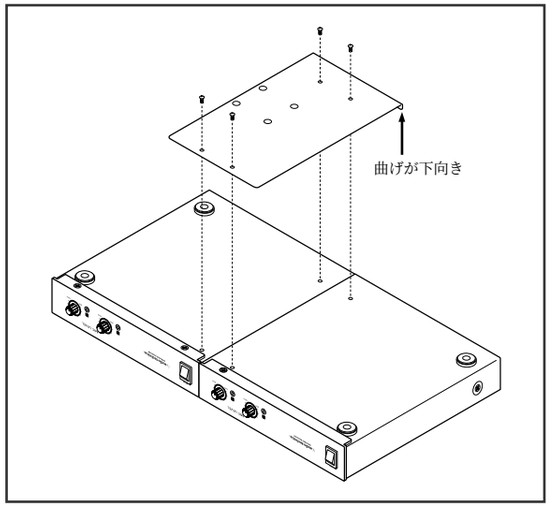
●MIXスイッチONにすることで、
ATIR-T22A、**ATIR-T33A**、
ATIR-T22B、**ATIR-T33B**
の音声がMIXされてAチャンネル
のジャックから出力されます。
（Bチャンネルからは出力されません）

ATIR用連結プレート（別売）：使いかた

ATIR-R22と**ATIR-R33**を同じ部屋でご使用の場合、レシーバーに別売のATIR用連結プレートを取り付けセッティングできます。
＊プラスドライバーをご用意ください。



①各レシーバー底面に取り付けてあるゴムアシを各2個ずつはずします。



②連結プレートをレシーバー底面に付属のネジ（連結プレート用）で取り付けます。

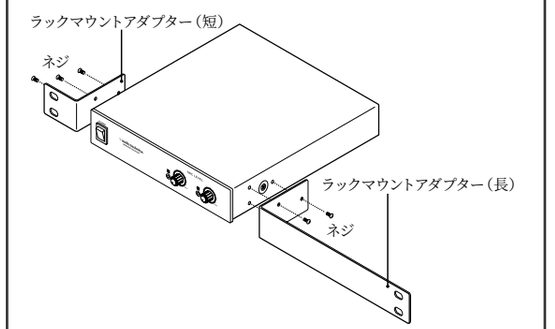
＊連結プレートには方向がありますので、曲げの部分をレシーバー裏面になるようにします。

＊ネジは4本しっかり取り付けてください。

ラックマウントアダプター：使いかた

ラックマウントでご使用の場合、レシーバー**ATIR-R22**と**ATIR-R33**に付属のラックマウントアダプターを取り付けます。
＊プラスドライバーをご用意ください。

1台セッティングの例

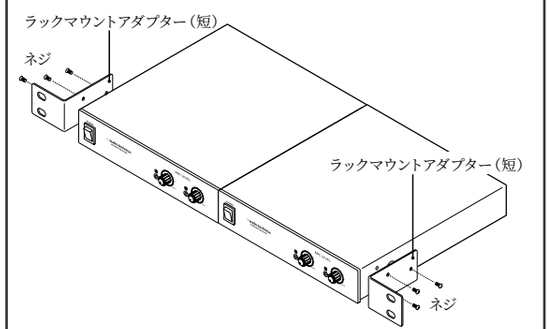


①レシーバーの側面にラックマウントアダプターを付属のラックマウントアダプター取付ネジで取り付けます。

＊付属のラックマウントアダプターは、アングルの長さが長いタイプと 短いタイプの 2種類があります。レシーバーの側面どちらでも取り付けられます。

＊ラックマウントアダプター取付ネジは左右各3本ずつ、しっかり取り付けてください。

2台セッティングの例



②別売のレシーバー**ATIR-R33**と同時セッティングも可能です。

＊ジョイントプレートを取り付け、ラックマウントでご使用の場合は、ラックマウントアダプターのアングルの短いタイプを左右に取り付けます。